

登録No. S-084
 登録名 Panitumumab/XELOX療法
 催吐性リスク 中等度
 適応疾患 結腸・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パニツムマブ 生食	6mg/kg 100mL/body		d1	d.i.v.	60min	0.2又は0.22µmフィルター使用
Rp.2	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	30min	パニツムマブ フラッシュ用
Rp.3	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	100mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	
Rp.4	グルコン酸Ca 硫酸Mg 5%ブドウ糖液	10mL/body 10mL/body 50mL/body		d1	d.i.v.	15min	オキサリプラチン前 末梢神経障害予防
Rp.5	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	血管痛あればデキサメタゾン 1.65mg混注
Rp.6	グルコン酸Ca 硫酸Mg 5%ブドウ糖液	10mL/body 10mL/body 50mL/body		d1	d.i.v.	15min	オキサリプラチン後
Rp.7	カペシタピン	BSA1.36m ² 未満	2400mg/body/day	d1夕～ d15朝	p.o.	分2朝夕	副作用による減量規定あり 14日投与7日休薬
		1.36m ² 以上1.66m ² 未満	3000mg/body/day				
		1.66m ² 以上1.96m ² 未満	3600mg/body/day				
		1.96m ² 以上	4200mg/body/day				

1クールの間 3週間
 その他（副作用・PS規定等）

XELOX: 副作用：末梢神経障害、しびれ、骨髄抑制、消化器症状、Hand-Foot syndrome
 好中球1500以上・血小板7.5万以上で投与可。（減量規定参照）

Panitumumab: 副作用：皮疹、低マグネシウム血症、間質性肺炎

- Infusion reaction対策の前投薬は原則不要だが必要に応じて考慮する。
 重度(Grade3以上)のInfusion reactionが現れた場合、本剤の投与中止。
 Grade2以下は投与速度減じて慎重投与。
- 1回投与量が1000mgを超えて使用する場合は生食を添加して全量を約150mLとし
 90分以上かけて点滴静注。